

やぶなべ会報

自然を見つめる「やぶなべ会」(青森)発行

誌 名	やぶなべ会報
号/発行年/頁	25 / 2009 / 48-50
タイトル	妙見「大星神社」の植物(2)
著 者 名	石郷岡總一郎

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

妙見「大星神社」の植物(2)

第25代 石郷岡 總一郎

前回に引き続き、青森市妙見「大星神社」境内に生育する植物を紹介します。今回は、春先(雪解け～桜開花の頃)に見られるものをピックアップしてみました。春先に花が目立つ草本植物は、「フキ」・「キクザキイチゲ」・「スイセン」・「キバナノアマナ」・「オオタチツボスミレ」・「セイヨウタンポポ」の順番になっている様です。なお、第1回で紹介した植物と重複するものは省いています。

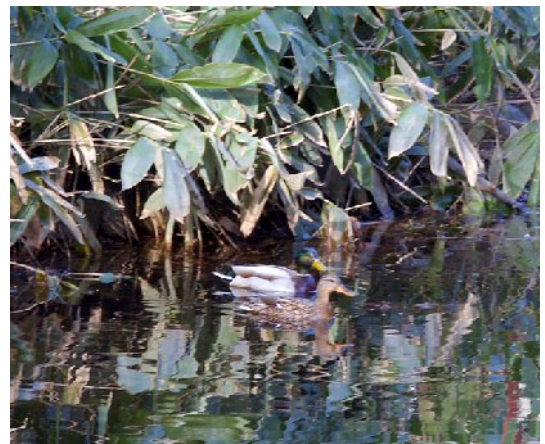
2008年は、3月の降雪が少なくまた気温も高めに推移したため、雪解けが早く進みました。それに伴い、植物の動きも例年より速い印象があります。大星神社の桜(シダレザクラ・ソメイヨシノ)も4月20日に満開になりました。(2006年とは3週間程度違う。)

第1回目で紹介した「キバナノアマナ」は、2008年が当たり年の様で、たくさんの個体が花を咲かせていました。2007年に見る事が出来なかったのは、たまたま開花期に観察を行っていなかったからかもしれません。大星神社境内の観察は、時間に余裕がある日の早朝に20分前後の時間で行う事が多く、見落としが多い事も事実です。また、短時間での観察のため、境内南東の広場のみで終わる事が多く、林下など多くの場所が見落とされていると思います。

また、植物ではありませんが、カモ類が池に飛来しているのをだいぶ以前から見ていました。2008年4月に、マガモのつがいを写真に収める事が出来たので、おまけとして掲載します。(写真1はトリミングを行いましたので、少々不鮮明です。手前が♀、奥が♂です。)



[図1] 大星神社境内略図(再掲)
(濃緑:針葉樹、黄緑:落葉樹、淡緑:草地)



[写真1] 境内の池で羽を休めるマガモ

境内に生育する植物の紹介

クマイザサ(イネ科)

ドーナツ状の池の南側などに生育しています。生育エリアの増減は殆ど無いようです。冬場～雪解け直後の「緑」は、常緑樹を除いてササのみです。

(2008-03-28 撮影)





スギ(スギ科)

古くは境内入口(国道103号線、通称観光通に面す)から参道沿いに大木がありました。今は社殿を囲むように植栽されているのみです。

(2008-03-22 撮影)



アキタブキ(キク科)

青森市内では、何処でも見られる「フキノトウ」ですが、雪解け直後に春の訪れを知らせてくれる「緑」です。大星神社境内では個体数の増減を余り感じられません。

(2006-04-15 撮影)



キクザキイチゲ(キンポウゲ科)

大星神社境内では、青紫色の個体のみで、白色のもの(シロバナキクザキイチゲ)は生育していない様です。多年草で毎年同じ場所に同じように花を咲かせますが、わずかながら個体数が増えている印象を持っています。

(2006-04-29 撮影)



スギナ(トクサ科)

徐々にですが、個体数が減少している印象を持ちます。隣接する(協)青森総合卸センターで、歩道への除草剤散布を行う事があり、その影響を受けている可能性があります。

(2006-05-13 撮影)



スイセン(園芸品種、ヒガンバナ科)

元々は、植栽されていたものと思われます。ここで見られるのは、八重咲きの品種が大半を占めます。落ち葉の下から成長するので、葉に落ち葉が突き刺さった状態の株が多数見られます。

(2006-04-29 撮影)

ソメイヨシノ(バラ科)

(協)青森総合卸センターが大星神社へ寄贈した100本が元になっています。開花後約一月すると、赤い実も見ることが出来ます。

(2006-05-13 撮影)



ツバキ属(ツバキ科)

ドーナツ状の池(中の島)及びシダレザクラの近辺に植栽されています。大星神社境内では、「桜の淡桃色」と「つばきの赤色」のコントラストがきれいです。(品種等の同定をしていませんので、総称のツバキとして掲載します。)(2008-04-20 撮影)



ヒメオドリコソウ(シソ科)

歩道の脇などに多く、いかにも帰化植物らしさが出ています。草地や林下などでは見かけません。年によって数の増減が有るようです。これも除草剤の影響があるのでしょうか。

(2006-05-08 撮影)



セイヨウタンポポ(キク科)

個体数が減少している印象を持っています。以前は一面に敷き詰められていた感じですが、最近では点々という感じです。ここ2~3年程、夏場にクズとオオイタドリによって地表が覆われてしまう影響があるのでしょうか。

(2006-05-13 撮影)



ツボスミレ(スミレ科)

オオタチツボスミレに比べて数は少ないようです。花の大きさが小さいので、見落としがあるかもしれません。緑地よりも参道沿いで目に付きやすいです。

(2007-05-06 撮影)

